

2025 年度 大学院春季入試（外国語学研究科日本語文化学専攻）

博士課程（前期&後期）

外国語科目 日本語

---

【合否判定の方法】

《外国語科目》《専門科目》《面接》

提出書類および外国語試験、専門科目、面接の成績を総合的に評価し、合否を判定する。

【合否判定の基準】

提出書類および各試験の結果を総合的に評価し、研究計画の妥当性および博士課程における研究遂行能力を有しているかを判断する。

1 試験日 2025 年 2 月 15 日

2 科目 (100 点満点)

外国語 (英語)

3 出題意図

英語問題は複数の問題形式により、受験者の外国語 (英語) の能力を、読解力を中心に測定する。2 つの問題は文法能力や語彙知識を問う、多肢選択式の問題である。残り一つは 450 語程度のまとまった英文を読み、その内容を 600 字などの字数制限を設けて、わかりやすく説明をする問題である。

大学院では外国語で書かれた文献を読む必要から読解力を重視しているため、読解問題を中心としながらも、客観的な問題と併せて、総合的な外国語能力を測定する。

模範解答例

I. 短い英文の空所に入る適切な語や語句を 4 つの選択肢から選ぶ問題。

1. A

2. D

3. B

4. D

5. C

6. D

7. C

8. D

9. A

10. D

II. 10 問の短文の英文の各空所に入る語、または語句を 4 つの選択肢から選ぶ問題。

1. A
2. D
3. B
4. D
5. C
6. D
7. C
8. D
9. A
10. D

III. 450 語程度の英文の内容を、600 字程度の日本語でわかりやすく説明する問題。

この文章は、国際結婚における言語の葛藤と、それを乗り越えるための工夫について描いています。

筆者はカナダ出身で、妻は日本人です。結婚後、文化や価値観の違いもありましたが、最大の課題は「言語」でした。妻は英語力を維持・向上させたいと考え、毎日英語を話すことを望んでいました。一方、筆者は日本語力を伸ばしたいと考え、毎日日本語を話したいと思っていました。お互いの希望がぶつかり合い、どちらの言語を使うかが問題になったのです。

そこで二人は、公平な解決策として「一日ごとに使う言語を交代する」方法を選びました。英語の日と日本語の日を交互に設け、それぞれが半分ずつ自分の望む言語を使えるようにしたのです。

英語の日は筆者にとって楽でしたが、日本語の日は苦労の連続でした。語彙が足りず、朝食時の会話も辞書を引ながらで、塩を取ってもらっただけでも大変でした。それでも妻は辛抱強く見守り、数か月後には筆者の日本語は着実に上達しました。妻も英語を維持でき、二人の方法は成功します。

筆者は、対立を解決するには双方が納得できる妥協を見つけることが大切だと述べ、読者にも自分の人生の葛藤に向き合う勇気を促しています。

(494 語)

以上